

一般質問



農業の現状と今後の見通し、市として技術協力を!! 観光と農業について 定住対策について

大石 温基

農業の現状と今後の見通し、市として技術協力を!!

質問 国の品目横断的安定対策が、一年で急に水田経営所得対策と名称が変わり、面積要件が緩和された状態になってきている。国の政策がこのような中であって、市ではもう少し足腰の強い農業政策をしていただき、農家が安心して経営できる農業政策を行っていただきたい。現在の農家の状況を市長はどのように、考えているのか伺いたい。

また、県の方では平成二十一年に地域振興局の統合を図るということであるが、今後ますます転作が進んでくると、米作りだけの収入ではどうにもならない、大豆、ソバなどだけでなく、野菜等、いろいろな作物に手を広げていかなければならないと考える。

農協の指導もあるがしっかりと農業技術指導を行う専門家を育てていく必要があると思うが市長の考えを伺いたい。

市長 ご指摘のように国の政策として平成十九年から品目横断的安定対策ということでスタートをしたわけ

であるが国としては進めた後の反省点から名称を変更し、加入要件など緩和の方向に変わったところである。国のこのような政策を受けて進めているが、私としては農業については、稲作主体の地域農業、これを米以外も含めた、もっと強い農業にしなければいけないということでは就任以来そのような観点からお話をしてきたところである。仙北市の農家の皆さんが将来できるだけ不安を抱かず強い農家になっていけるよう支援をしていきたいと思っている。農業の指導者という質問があったがこれについては市の職員としても技術レベルなり専門知識を持つように努力をする。県の専門的な立場にある方とか、国の機関を我々が活用し、農家の皆さん方に紹介するということを進めていきたい。

観光と農業について

質問 この米どころの仙北市、その農業と、また来てくれる観光客に、仙北市に行けば美味しいご飯が食べられるというような状態にするためには、農家と観光業者と、行政もその橋渡しをしていただかないとなかなか困

難なことだと思う。現在仙北市にも認定農業者の連絡協議会があるが、その中の方々に動いてもらって観光業との携わりを強くしていただくことなど市としての指導があれば良いと思うが市長の考えを伺いたい。

市長 観光の中で特に食材である米については、地元で作った美味しい米を提供し、また行つて食べてみたい、取り寄せたいという形にしなければいけないと思つている。これについては、観光施設業者さんにも、仙北市の特徴、良さがあつてまた来ていただけるということを強く認識していただき、長く続く交流、観光という観点から対応していくことが不可欠であると考えている。また観光に関連して認定農業者協議会は私も存在を認識している。代表を含めて四名の方が先頭を切つて地元の農業を観光という形で首都圏で売り、自らら認定農業者協議会の立場として行つている。行政としても今後どう進めていくかという観点から職員を同行させており今後も連携を取りながら進めていきたい。

定住対策について

質問 新しく仙北市に来てもらうと同時に、今住んでいる人達に住み続けてもらうのも定住化対策の一つになると思う。冬は雪が多く、良い条件とは云えないが、職場の確保や、インフラの整備などを急がなければならぬと思うが市長の考えについて伺う。

市長 住んでいる皆さんが環境の整備された中で住みやすい、安心して生活ができる、そういうインフラ整備、こういったものは続けていかなければいけないと思つている。道路の整備についても同様である。実施に当たっては緊急度、必要度など総合的に判断しながら進めていきたい。



美味しい米の供給を